

ウェブサイトはこちら！

福島第一原子力発電所で働く
みなさんへのお知らせ

2019年

月刊 いちえふ。



3

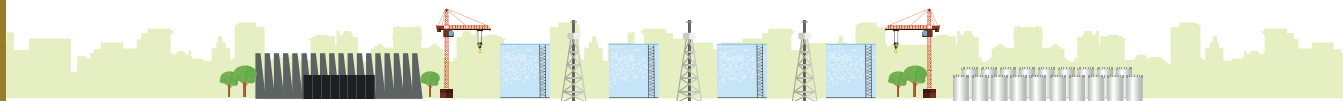
月

みなさまへのメッセージ

1Fの事故から8年が経過しました。1Fは、事故当初の危機的状況から、燃料取り出しやデブリ取り出しなど、廃炉の核心ともいえる作業を行う段階へと進んでいます。これもひとえに、みなさんのお力の賜物です。心から御礼を申し上げます。

事故以降、1Fでは作業員のみなさんや周辺環境の安全確保を最優先に、放射線量の低減や労働環境の改善に取り組んできました。その結果、現在は構内の約96%が一般作業服で立ち入り可能なエリアになりました。また、構内移動用の自動運転EVバスも運行を開始しています。引き続き、環境改善の取り組みを進めてまいります。

避難されている方々のご帰還や復興のためには、一つひとつの作業を、安全第一で着実に進めていくことが重要です。これからも力を結集して廃炉を進めていきましょう。



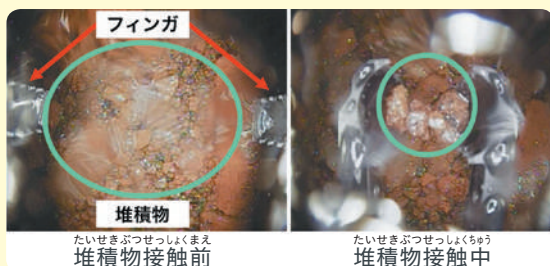
いちえふのいま

2号機原子炉格納容器内の堆積物への
接触調査を実施しました

2号機原子炉格納容器内に確認された燃料デブリと思われる堆積物の性状(硬さや脆さなど)を把握するための初の接触調査を、2月13日に実施しました。今回の調査によって、小石状などの堆積物をつかんで動かせること、

つかむことのできない硬い岩状の堆積物があることを確認しました。また、調査装置をより接近させたことで、堆積物のサイズなどがわかるような映像や、線量・温度データを取得できました。

今回の調査結果を活用し、2019年度下期の内部調査や燃料デブリ取り出し方法の検討などを進めていきます。



接触調査の実施状況



解説動画▶



自動運転EVバス 運行開始

構内の移動しやすさ向上などのため、日本で初めて実用化した自動運転EVバス「はまかぜe」の運用を開始しました。



手袋などの装備不要で 移動可能なエリアを拡大

現在、構内の96%は軽装備で入域・作業可能なエリアです。その中でも、1～4号機を俯瞰できる高台や、休憩所周辺と免振重要棟を結ぶ歩道など、放射性物質による汚染の広がりが少ないことを確認できたエリアは、手袋や

マスクなどの装備も不要で移動可能になりました。



OTHERS

1・2号機排気筒解体に 向けた対応

排気筒の解体に向け、解体装置のモックアップ試験を構外で実施しています。今後、装置を構内に移送・組み立てし、2019年度初頭から排気筒の解体に着手する予定です。

3号機使用済燃料の 取り出しに向けた対応

燃料取扱い用カバーを2018年2月に設置し、同年3月から試運転を開始しましたが、現在は燃料取扱機やクレーンの不具合などに伴う対応を行っています。今年4月の取り出し開始を目標に、安全最優先で作業を進めます。



8月

4月



凍土方式の 陸側遮水壁の効果を確認

原子炉建屋に地下水を「近づけない」ための対策として、凍土方式の陸側遮水壁を設置しました。



3月

2月～

2018



お せんすいたいさく
汚染水対策



燃料デブリ取り出しに向けた取り組み



使用済燃料プールからの燃料取り出しに向けた取り組み

2019

2月



1号機原子炉建屋上部にある Xブレース撤去作業完了

使用済燃料プールの保護をする際に
支障となるXブレース(X字型の補強
鉄骨)の一部について、2018年9月
～12月に撤去作業を行いました。



12月

11月



2号機オペレーティングフロアの 調査完了

使用済燃料取り出しに向け、2018年7月～2019年2月に
原子炉建屋の上部にある
オペレーティングフロア全
域の汚染状況・設備状況の
調査などを実施しました。



フランジ型タンク内に貯蔵している ストロンチウム処理水の浄化処理完了

フランジ型タンク(鋼材をボルト締め
したタンク)に貯蔵しているストロン
チウム処理水について、漏えいリスク
低減などの目的で、多核種除去設備
による浄化処理を完了しました。



2号機原子炉格納容器 内部の堆積物への 接触調査を実施

調査では、堆積物の硬さや脆さを確認する
とともに、堆積物に接近した状態での映像、
線量・温度データなどを得ることができ
ました。



OTHERS

廃炉資料館の開館

事故の記憶と記録を残し、事故を
二度と起こさないための反省と教訓を
社内外に伝えること、廃炉の進捗を
わかりやすくお伝えすることを目的に
「東京電力廃炉資料館」を開館しました。



作業・労働環境の改善に向けた取り組み

OTHERS

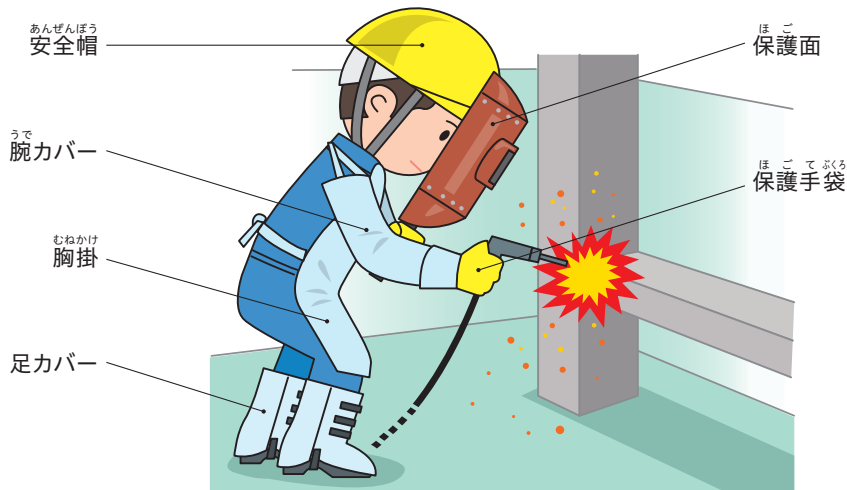
その他の作業・取り組み

安全の心得

火気作業編 10

保護具を 着用しよう②

ようせつ
溶接作業時の
安全保護具の着用



福島 QUIZ クイズ

クイズ
今月は福島 QUIZ 第4回です。福島県にまつわるクイズ
を毎月出題します。あなたはどのくらい知っていますか？

福島県のシンボルの1つで、
透明度が高く「天鏡湖」とも
称される猪苗代湖。
その広さは日本で何番目？

- ① 2番目 ② 3番目
③ 4番目 ④ 5番目

▶ 今号のプレゼント

福島名産の
詰め合わせです。

※賞品は写真と異なる
場合がございます



▶ 応募方法・プレゼントのお受け取り方法

福島 QUIZ に正解した方の中から抽選で5名様に
プレゼントをさしあげます。

入退域管理棟、福島第一登録窓口通入口にある
応募箱に必要事項をご記入のうえ、ご応募ください。

応募箱設置期間 3月22日～4月12日

- *応募用紙は応募箱横に設置しています。
- *当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせて
いただきます。
- *答えはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」新着情報で
発表します。

1FOR
ALL JAPAN
廃炉のいま、あした

ウェブサイトの紹介

<https://1f-all.jp/>

福島第一原子力発電所の廃炉事業を進める作業員のみな
さんに、働く仲間や応援者のメッセージを伝えるため2015年
10月に開設した「1 FOR ALL JAPAN」です。ウェブサイト
でも本誌でも、作業員のみなさんを応援していきます。



月刊いちえふ。
2019年3月号

【発行日】2019年3月22日

【発行】
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
廃炉コミュニケーションセンター
コミュニケーション推進グループ

【お問い合わせ先】
Mail: info@1f-all.jp